学校番号	3017

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の地理総合(帝国書院)						
副教材等	標準高等地図(帝国書院)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界各地のくらしをみつめよう。また地球的課題に取り組んで、世界と自分のつながりを理解しよう。これからの生活では防災も重要なテーマです。災害時に役立つ実践的な力を身につけよう。作業を通して地図や GIS の使い方も自ら身につけていこう。全体として主体的な学習が求められます。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを理解する。
・自然災害が生じる場所と要因，日本の自然災害の特徴，生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
・地形や気候，産業とその発展，歴史，人の移動，他地域との結びつきに着目しながら，世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて，多面的に考察し，表現する。
・地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための，地理的見方・考え方を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・目的に応じた地図や地理情報システムの活用について，主体的に追究し，課題を見いだす。
・国家の領域の定め方や領土問題，世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴について，地図を通して主体的に追究し，課題を見いだす。
・生活圏の調査の結果を地域に還元し，よりよい社会を築いていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理的な諸課題を捉え考察し,選択･判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに,諸資料や地図、データから主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や地理的空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し、判断し地球規模の視野から構想したことを論理的に表現できる。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，地理的、地球環境を視野に諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	1部地図や地理情報システムでとらえる現代世界	1章 ①地球儀やさまざまな図法の地図から，現代世界の姿はどのように読み取ることができるだろうか。 ②地図は目的に応じてどのように使い分けられるのだろうか。表現方法や縮尺(スケール)，主題(テーマ)に着目しながらみていこう。	a．地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて，地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や，地図や地理情報システムを利用する技能を身につける。 b．各種の地図にはどのような特徴があるのかや，地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて，多面的・多角的に考察し，表現する。 c．目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について，主体的に追究し，課題を見いだす。	発問評価 確認テスト	発問評価 ノート提出 授業発表 確認テスト	授業態度 授業発表 ノート提出 課題提出

		2章　結びつきを深める現代世界 ①世界を構成する国家の領域の定め方の特徴を理解する。 ②国家の領域や世界の国々の結びつき，交通，通信，人の移動の特徴を見いだすための，読図の技能を身につける。 ③国家の領域の定め方について，地図を通して主体的に追究し，課題を見いだす。 ④日本の領域を確認し、周辺の国とどのような問題があるか考察する。	ａ．世界を構成する国家の領域の定め方，地図を通して世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴を理解している。 国家の領域や世界の国々の結びつき，交，通信，人の移動の特徴を見いだすための，読図の技能を身につけている。 ｂ．国家の領域はどのように定められており，どのような領土問題があるのかや，世界の国々はどのように結びついており，どのような交通，通信，人の移動の特徴があるのかについて，地図を通して多面的・多角的に考察し，表現している。 ｃ．家の領域の定め方や領土問題，世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴について，地図を通して主体的に追究し，課題を見いだしている。			

	第2部 国際理解と国	1章 生活文化の多様性と国際理解 ①世界の多様な生活文化が，自然環境や社会環境を背景に，互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。 ②地形や気候，産業とその発展，歴史，人の移動，他地域との結びつきについて考察し，表現する。 1節 世界の地形と人々の生活 2 節 世界の気候と人々の生活 3 節 世界の産業と人々の生活 4 節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 5 節 多様な生活文化と地理的環境	a．世界の多様な生活文化が，自然環境や社会環境を背景に，互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 世界の生活文化の多様性の背景となるものや，世界の生活文化の相互関係を見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b．地形や気候，産業とその発展，歴史，人の移動，他地域との結びつきに着目しながら，世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。世界の多様な生活文化を尊重し，共生を図っていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。 c．世界各地にみられる地形、気候の違い、産業の発展、宗教・民族・言語、世界各地の特色ある生活文化を考察するにあたって，まず日本の生活文化における世界と共通点・相違点に着目し理解する。 ・自然環境，産業，宗教・歴史，結びつきの各テーマから一つずつ事例を選んで主体的に学習を進めることができる。	発問評価 確認テスト	発問評価 ノート提出 授業発表 確認テスト	授業態度 授業発表 ノート提出 課題提出

		事例 1 産業①経済発展による生活文化の変化 -東アジア事例 2 結びつき① 他地域との結びつきが生活文化に与えてきた影響 -東南アジア 事例 3 宗教・歴史① ヒンドゥー教と生活文化の関わり－インド－ 事例 4 宗教・歴史③伝統の継承と生活文化の関わり -ヨーロッパ	a.多民族国家として中国をとらえたうえで，経済発展が人々の生活に影響を与えてきたことについて理解している。 b.言語や宗教，歴史に着目しながら，中国の経済発展が人々の生活をどのように変化させたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 季節風が自然環境に与える影響や，他地域との結びつきを生み，人々の生活に影響を与えてきたことについて理解している。 c.季節風が人々の生活のどのような側面に関わり，変化を及ぼす要因となってきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 a.宗教が人々の生活に影響を与えてきたことについて理解している。	発問評価 確認テスト	発問評価 ノート提出 授業発表 確認テスト	授業態度 授業発表 ノート提出 課題提出
2		2章 地球的課題と国際協力	a.地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。 地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b.地球的課題がどこで，どのように生じているのかや，解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c.持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について，主体的に追究し，課題を見いだしている。	発問評価 確認テスト	発問評価 ノート提出 授業発表 確認テスト	授業態度 授業発表 ノート提出 課題提出

		1節 人口問題	ａ世界のどこで，どのような人口問題が生じているのかについて理解している。 b. 人口増加と人口減少のそれぞれが，どこで，どのように生じており，何が要因となっているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c. 人口問題が生じている場所や要因となっているものについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	発問評価 確認テスト	発問評価 ノート提出 授業発表 確認テスト	授業態度 授業発表 ノート提出 課題提出
		2 節 食料問題	ａ. 世界と日本でどのような食料問題が生じているのかについて理解している。 b. 各地で異なる原因に着目しながら，食料問題がどこで，どのような形となって生じているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c. 食料問題の解決に必要な取り組みについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	発問評価 確認テスト	発問評価 ノート提出 授業発表 確認テスト	授業態度 授業発表 ノート提出 課題提出
		3節 都市・居住問題	ａ. 世界でどのような都市問題が生じているのかについて理解している。 b. 人口移動に伴う都市の変化に着目しながら，都市問題がどこで，どのように生じているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c. 都市を形成する人々の動きを踏まえたうえで，都市問題の生じる過程や現れ方について，主体的に追究し，課題を見いだしている。	発問評価 確認テスト	発問評価 ノート提出 授業発表 確認テスト	授業態度 授業発表 ノート提出 課題提出
		4節 感染症・衛生問題	ａ. 世界の感染症がどこで，どのように現れ，どのように解決が図られてきたのかについて理解している。 b. グローバル化や衛生環境に着目しながら，感染症がどこで，どのように生じ，どのように解決が図られてきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c. 世界規模で生じる感染症の解決に必要な取り組みについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	発問評価 確認テスト	発問評価 ノート提出 授業発表 確認テスト	授業態度 授業発表 ノート提出 課題提出

		5節 資源･エネルギー 問題	a. 資源・エネルギーの生産地と消費地は，それぞれ地域的に偏在していることについて理解している。 b. 資源・エネルギーの生産地と消費地が，なぜ，どのように偏在しているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c. 資源・エネルギーの生産地・消費地が，地域的に偏在していることへの対応について，主体的に追究し，課題を見いだしている。	発問評価 確認テスト	発問評価 ノート提出 授業発表 確認テスト	授業態度 授業発表 ﾉｰﾄ提出 課題提出
		6節 地球環境問題	ａ. 地球環境問題がどこで，どのような影響を及ぼしているのかについて理解している。 b. 海洋汚染や熱帯林破壊に着目しながら，地球環境問題がどこで，どのように生じており，どのような影響が生じているのかについて，多面的･多角的に考察し，表現している。 c. 地球環境問題が引き起こされる要因や，各地に及ぼす影響について，主体的に追究し，課題を見いだしている。	発問評価 確認テスト	発問評価 ノート提出 授業発表 確認テスト	授業態度 授業発表 ﾉｰﾄ提出 課題提出
	3部 持続可能な地域づくりと私たち	1章 自然環境と防災	ａ. 世界と比較した日本の自然環境の特徴について理解している。 b. 地形や気候，自然災害との関係に着目しながら，日本の自然環境にはどのような特徴があるのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c. 世界の地形や気候，自然災害と比較した日本の自然環境の特徴について，主体的に追究し，課題を見いだしている。	発問評価 確認テスト	発問評価 ノート提出 授業発表 確認テスト	授業態度 授業発表 ﾉｰﾄ提出 課題提出
		1節 日本の自然環境	a. 世界と比較した日本の自然環境の特徴について理解している。 b. 地形や気候，自然災害との関係に着目しながら，日本の自然環境にはどのような特徴があるのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c. 世界の地形や気候，自然災害と比較した日本の自然環境の特徴について，主体的に追究し，課題を見いだしている。	発問評価 確認テスト	発問評価 ノート提出 授業発表 確認テスト	授業態度 授業発表 ﾉｰﾄ提出 課題提出

		2節　地震・津波や火山活動による災害と防災	a. 地震が発生するメカニズムや，生じる場所と揺れの大きさの関係について理解している。 b. 地震が発生する場所や震源からの距離に着目しながら，地震がどのように生じ，場所によってどのような現れ方をするのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c. 地震の生じるメカニズムや，発生場所と揺れの関係性について，主体的に追究し，課題を見いだしている。			
		3 節　気象災害と防災	a. 場所によってどのような気象災害が生じるのかについて理解している。 b. 場所による被害の違いに着目しながら，どのような気象災害がどのような場所で生じるのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c. 気象災害が生じる場所とその要因について，主体的に追究し，課題を見いだしている。			
		4節　自然災害への備え	a. 自然災害による被害を最小限にするために必要な備えについて理解している。 b. 事前の備えに着目しながら，自然災害による被害はどのように最小化することができるのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c. 自然災害による被害を最小限にするために，事前にできる備えについて，主体的に追究し，課題を見いだしている			
3		2章　生活圏の調査と地域の展望	a. 生活圏の調査にあたって，仮説の立て方、調査結果の検証の方法，発表のしかたを理解し、発表のしかたについての技能を身につけている。 b. 事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや，現地調査の結果をどのように分析・整理するのか，他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c. 生活圏の調査の結果を地域に還元し，よりよい社会を築いていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。			

		1　地理的な調査テーマの設定	ａ.生活圏の調査を行ううえで,「問い」を立てることや事前調査が必要なこ事について理解し技能として身につけている。 b.自らの生活圏に対してどのような「問い」が立てられるのかや,どのような事前調査が必要なのかについて，多面的に考察し，表現している。 c.自らの生活圏に対して「問い」を立てたり事前調査の方法を考えたりするなど、主体的に追究し課題を持っている。			
		2　事前調査と現地調査	a.事前調査の結果から仮説を立てることや，調査項目を準備したうえで現地調査を行うことについて理解し，技能として身につけている。 b.事前調査の結果からどのような仮説や調査項目が立てられるのかについて，多面的に考察し，表現している。 c.仮説や調査項目など，現地調査を行ううえで必要なことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている			
		3　調査結果の分析と仮説の検証	ａ.事前調査の結果から仮説を立てることや，調査項目を準備したうえで現地調査を行うことについて理解し，技能として身につけている。 b.事前調査の結果からどのような仮説や調査項目が立てられるのかについて，多面的的に考察し，表現している。 c.仮説や調査項目など，現地調査を行ううえで必要なことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。			
		4　調査結果のまとめと地域づくりへの参画	ａ.調査結果の発表方法や,調査結果を地域に還元するために必要な取り組みについて理解し，技能として身につけている。 b.調査結果の発表方法に着目しながら，現地調査の結果をどのようにまとめ,発表するのかについて,多面的・多角的に考察し，表現している。 c.調査結果を地域に還元するという視点をもちながら，調査結果のまとめ方や発表のしかたについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度